

第2号 2020年2月

【北条地区人口】(2020.2.1時点)
男3,547人 女3,879人

【世帯数】 2,752世帯

〈発行〉あつまらいや北条
〈電話〉36-3111 (事務局)



257スマイル!

今年3月に北条こども園・北条みどりこども園を卒園する園児とその保護者を中心に、こども園関係者、放課後児童クラブの皆さんの方のほか、たくさんの方のご協力で、257の笑顔の花が咲きました！



近い将来、北栄町も人口減少・超高齢化社会の波が！

「住んでてよかったです、住み続けたい町、北栄町」を 「北条」から、皆の手でつくらいや！



子どもたちは地域の「宝」。その「宝」はやがて自分の選択した居場所で七色に光輝く。そんな「宝」たちは、育った環境で「ふるさと」を心に刻む。そんな「宝」たちが誇りをもって応援したくなる「ふるさと北条」を北条地域のみんなの手で一緒に作っていきませんか？



「北条」を改めて見つめ直し、みんなが魅力を感じる「ふるさと北条」とは？

北条地域住民の知恵と行動力を結集し、遊び心をもって発見・創作していきましょう！

あつまらいや北条会員募集中！
北条地区の賑わい創出に取り組む同会の会員を随時募集しています！
まずは、月1回程度開いている定例会に参加して語り合ってみませんか？

あつまらいや北条 検索

求む！アイデア

地域資源

茶臼山！ 北条砂丘！
北条ぶどう！ 太鼓！
ワイン！ らっきょう！
北条おこわ！ 水くみ唄！
守 活 創 ?
やってみたいことないかえ？

(写真：蜘蛛ヶ岳「山菜の里」から風車と日本海を望む)

もち米づくり体験

2019・6・8(土) 田植え

10・26(土) 稲刈り

11・30(土) 収穫祭

放課後児童クラブの児童、田井営農組合とあつまらいやメンバーが田植えをしたもち米が秋に実り、稲刈りと収穫祭を実施しました。稲刈りでは、ぬかるんだ田んぼに足を取られ、動けなくなる子や、転んで泥だらけになる子もいましたが、組合の皆さんに手ほどきを受け、コツをつかむと上手に刈っていき、1時間も経たないうちにすべて刈り終えました。

収穫祭では、自分たちが作ったもち米を「よいしょ！よいしょ！」と威勢良く声を掛けてお餅をつき、丁寧に丸めました。出来上がったお餅はみんなで頬張り、おいしくいただきました。



おいしい～♥



第2回北条ふるさとまつり

2019・11・3(日)

あつまらいや
やらいや
たのしまいや



北条健康福祉センター前をメイン会場に開催しました。ステージイベントでは、地元の子どもたちによるダンス、吹奏楽、北条砂丘太鼓など、多彩な演目で盛り上げていただきました。

また、北条屋台村ブースには北条地区住民・有志で結成した団体など軽トラ市を含め32団体が出店。どのブースにも長蛇の列ができ、大繁盛でした。



ものづくり体験では、大人の方が時間を忘れて夢中になって創作される親子の姿も。地元企業有志による働く車コーナーでも何回も並んで乗車する子どもたちがあり、大人気でした。

今回のまつりには、第1回目を上回る来場者(2,500人以上見込)があり、たくさんの笑顔があふれ、良い交流の場となりました。

高校生との相撲&ちゃんこ交流

2020・1・25(土)

あつまらいや北条と放課後児童クラブがコラボし、「おすもうさんとたのしいことをしよう」を企画。鳥取城北高校相撲部と北条ふれあい会館で相撲やゲームを楽しみ、ちゃんこ鍋を囲んで親睦を深めました。

子どもたちは、高校生のまわし姿の登場に「おっしゃ！」と体格の迫力に驚きながらも、相撲対決では、何とか勝とうと束になって足を取りにくなど協力して頑張る姿がありました。



このほか、ジェスチャーゲームをしたり一緒にダンスしたりいろんなゲームで気さくなおすもうさんと打ち解けました。

昼食には、城北高校秘伝レシピによる「ちゃんこ」を存分に味わい、みんなが心もお腹も幸せいっぱいになりました。

第2回

茶臼山桜まつり

●北条屋台村

(あつまらいやカレー、北条おこわ、ぼたもち、焼きそば、フランクフルト、飲み物、ヨーヨーすくい、スーパーボールすくい、わたがし、射的 など)



射的

高得点者には段ボール銃をプレゼント!
※数に限りがあります。

●イベント

ウォーキング、グラウンド・ゴルフ、親子ふれあい広場（ホールインワンゲーム、ストラックアウト、のど自慢、紙飛行機とばし大会、バンド演奏 など）



※グラウンド・ゴルフは参加費100円が必要です。

※内容は変更になることがあります。



無料シャトルバス

(9:30～14:30頃まで) 随時運行

B&G海洋センター ⇄ 旧大野児童館

まつりで撮影した写真・映像を町ホームページ等に掲載することができます。あらかじめご了承ください。

編集後記

あつまらいや北条の充実した活動も早や2年目が終わろうとしています。

私事ですが、高齢の母親と2人の老人介護の毎日、どうやって過ごしていくのか不安もありましたが、会員になったことで、勇気をいただきました。若い人と出会い、話し合い、取り組んでいけることは本当に素晴らしい、これからもずっと続けてていきたい集まりです。

一人でも多くの力で、表紙写真のように笑顔の花が満開となり、その笑顔が未来の子どもたちにも繋げられるよう、「あつまらいや」の活動に参加してみてください。そして、知恵もお貸しください。お待ちしています。

広報委員 立石 初子

ネタのタネ



「みんなで田植え」

北条小6年 田熊 美優さん

もち米づくり体験交流の絵画が
「MOA美術館鳥取県教育長賞」に輝く！



学校でバケツ稻を育てることはあったけど、田植えは初めてでした。苗を植えるときは、田んぼがドロドロで泥んこになるのが気持ちよかったです。皆が力を合わせて楽しくできました。稻刈りは自分たちの植えた稻がたくさんとれてうれしかったです。普段できない体験なので、これからも続けていってほしいです。

生前、木工創作を通して町芸術の発展に尽力された故・大嶋貞夫さん(みどり西団地)のご家族から『北条地区の発展に尽力されていあるあつまらいや北条の活動に』とご寄付をいただきました。御礼申し上げます。
(写真:大嶋由紀枝さん(中央)から副田会長が目録を受領)

